下水道　生きものすべての　いのちのわ

※平成23年度「下水道の日」推進標語

彦根市の下水道整備

下水道は、私たちの暮らしを健康で快適なものにし、河川やびわ湖の水質を守るためにも欠かせない施設です。

彦根市の公共下水道は、昭和56年度から事業に着手し、人口が多い市街地や下流域から順次整備を進めてきました。その結果、平成22年度末現在の人口普及率は75・4％で、全国平均の75・1％（岩手県、宮城県、福島県を除く）を若干超えているものの、滋賀県平均85・8％と比べると、まだまだ低い状況です。

これは、琵琶湖東北部浄化センターの供用開始（平成3年）が湖南中部や湖西の浄化センターに比べて遅かったことと併せ、昨今の厳しい財政状況から、事業費の縮減を余儀なくされていることもあり、これまでの整備ペースに比べ、進んでいないのが実態です。

現在、未整備になっている地域の皆さんには、大変ご迷惑をおかけしていますが、今後の財政事情を見据えつつ、彦根市全体のバランスにも配慮しながら、整備を進めていきますので、ご理解をお願いします。

数字で見る　彦根市の下水道の整備状況（前年度比）

▶供用面積は約27ha増加しました
▶供用区域内人口は約850人増えて約83,000人になりました

	平成21年度末	平成22年度末
下水道普及率	75.0 %	75.4 %
供用面積	1,948.6 ha	1,975.4 ha
供用区域内人口	82,153 人	82,999 人
供用区域内世帯	29,944 世帯	30,920 世帯
水洗化人口	71,637 人	73,954 人
水洗化世帯	25,328 世帯	26,253 世帯
人口水洗化率	87.2 %	89.1 %

排水設備工事は、必ず彦根市指定下水道工事店で行ってください

下水道を使うための排水設備工事を、彦根市の指定下水道工事店でないのに、皆さんの家庭へ売りこみに行く業者がいます。

彦根市に無届で工事を行い、後でトラブルになるケースがあります。ご注意ください。

業者が、彦根市の指定下水道工事店かどうかわからない場合は、㊢下水道管理課にお尋ねになるか、彦根市ホームページをご覧ください。

また、彦根市は、排水設備の清掃や修理などを業者に委託することはありません。

地下水を使用している人へ

公共下水道をすでに使用していて、地下水を下水道に流している家庭で、使用人数に変更がある場合は、必ず㊢下水道管理課にご連絡ください。

※㊢市民課、支所、各出張所での住所異動などの届出とは連動していませんので、㊢下水道管理課にご連絡ください。

問い合わせ先　㊢下水道管理課☎22-5458番、FAX22-5433番

上下水道部の事務所を統合します

4月に上下水道部として再編された上水道事業部門と下水道事業部門の事務所を統合します。

現在、市役所2階にある㊢上水道業務課と㊢上水道工務課が、市民会館1階にある下水道事業部門と同じ事務所に移転します。

移転先　市民会館（尾末町）
移転日　平成23年10月1日㈯

ただし、上下水道の受付や料金に関する業務を行っている「彦根市上下水道料金お客様サービスセンター」（旭町1-22　年明ビル2階）の場所は変わりません。

その他、詳しくは広報ひこね10月1日号でもお知らせします。

はーとふるメッセージ2010

特選作品紹介
第４回

学年は応募時のものです

作文・小学生の部

わたしのひいおばあさん

藤田（ふじた）　優菜（ゆな）さん（城西小学校3年）

わたしには、ひいおばあさんが一人います。ひいおばあさんは、大正時代に生まれて、今は九十才です。

ひいおばあさんは、小さい時に、お父さんがなくなった後、お母さんとはなれて、よその家によう子に行きました。また、せんそうのときに空しゅうではなれてくらしていたお母さんと弟がなくなりました。わたしは、ひいおばあさんはとてもかわいそうな子ども時代をすごしたんだなと思いました。わたしだったら、そんなことがまんできないと思います。でも、ひいおばあさんは、がんばって生きてきました。

でも、さい近足のほねをおって入院し、今はリハビリセンターでリハビリをしています。リハビリセンターにいても、ひいおばあさんにお見まいに行く人がたくさんいます。それは、ひいおばあさんの子どもや、まごや、ひまごです。みんなひいおばあさんのことをとても大事に思っているから、お見まいの品でいっぱいだそうです。わたしは、お見まいでいっぱいのひいおばあさんのことを聞いて、とてもうれしく思います。ひいおばあさんは、小さいときはくろうしたけど、今はお見まいの人がたくさんきてくれて、とても幸せそうに見えるからです。

わたしはひいおばあさんに長生きしてほしいです。ひいおばあさんががんばって生きていてくれたから、わたしや、わたしのお母さん、わたしの家族が今生きていられるんだなと思いました。わたしは、ひいおばあさんに、

「ありがとう。」

と言いたいです。たくさんの人たちの命がうけつがれ、つながってきたおかげで、生きているんだなあと思います。

自分が、今、こうして生きている。命をもっていると思うと、わたしはとってもうれしくなります。

ひいおばあさんは、まごのわたしのお母さん、ひまごのわたしたちのことをいつも心配して、ずっと思っていてくれます。わたしのお母さんに、「ゆうちゃんどうしてる。」と聞いてくれます。ひいおばあさんは、まごやひまごが元気で幸せにすごしていたらうれしいと思います。だから、わたしはありがとうの気持ちで、元気に生きたいです。

わたしは、ひいおばあさんの子どものときとちがって、楽しい毎日です。でも、大人になったら、くろうするときがあるかもしれません。でも、ひいおばあさんのことを思い出して、がまん強く生きていきたいと思います。そしたらひいおばあさんもよろこんでくれると思います。

選評

ひいおばあさんはなんて幸せな人なんだろうと強く感じました。子どもたちや孫たち、ひ孫たち、そしてひいおばあさんを大事に思ってくれる人たちに囲まれて、今があるのはひいおばあさんのすばらしい人柄の賜物ですね。命がつながっていることに感謝しながら前向きに生きていこうとする筆者の思いが素直に表現されていて感心しました。

ポスター・中学生の部

向（むかい）　樹理子（きりこ）さん（彦根中学校２年）